

事業テーマ

コンパクトでプライバシーに配慮した 介護専用おむつ交換車の試作品開発

【対象類型】 革新的サービス

【革新的サービスとの関連性】

- ・付加価値の向上(新規顧客層への展開商圏の拡大、ブランド力の強化、顧客満足度の向上、IT利活用(I))
- ・効率の向上(サービス提供プロセスの改善、IT利活用(II))

本事業への取組みの経緯・目的

1. 今までの経緯

当社は、理容、美容器具製造業として美容院用チェアやワゴン・エステティック器具などの製造を手掛けてきました。商品構成が近い医療にもターゲットを広げ、現在は当社の売上の2割にまで伸ばしてきました。

しかし、商社を通しての販売は利幅が薄く、直接販売が出来る新規市場を開拓したいと考え、今後市場の拡大が見込まれる介護関連施設にターゲットを絞り「介護専用おむつ交換車」の試作品開発、製品化による新市場開拓に挑戦していく為に本事業にエントリーし採択事業として取り組みました。

2. 本事業の目的、狙い

病院や老人ホームなど介護の現場では、身体が不自由でトイレに行くのが困難な方にはおむつをしてもらっていますが、入居者でも健常な方にとってはプライバシーの観点からのおむつ交換がストレスとなります。

特に、大部屋に入っている人は、周囲の人におむつをしていることを知られたくない、少なくともおむつ交換は目立たずにしたいという思いは切実です。そこで、本事業では臭い漏れを防ぎ、素早いおむつ交換に役立つコンパクトでプライバシーに配慮したユーザーのストレスを軽減する「おむつ交換車」を開発します。

試作品開発に当たっては、これまで蓄積してきたニーズ情報(軽量化・コンパクト化、汚物処理の密閉化と衛生配慮、収納棚や扉の工夫、目立たない、ほかの用途と見た目が変わらない)を踏まえ開発を進めます。



一般的な
医療用おむつ交換車



医療用おむつ交換車
(当社)

実施内容

1. 試作品の開発：

作成するおむつ交換車の仕様について協議、決定

2. 図面作成：

おむつ交換車本体、その他パーツ図面作成

3. 材料発注、入荷：

材料の発注及び入荷

※③一部開発段階での設計では強度不足が発生することがわかり設計変更

4. 試作品の設計変更：

アルミ素材を使用したおむつ交換車の当初設計では強度不足が発生することが判明、設計変更

5. 試作品の完成：

コンパクトタイプ木製おむつ交換車…………… 5種類

ワイドタイプ木製おむつ交換車…………… 5種類

コンパクトタイプアルミ製おむつ交換車…………… 5種類

ワイドタイプアルミ製おむつ交換車…………… 5種類

合計20台完成

6. 試作品の動作テスト：

完成したおむつ交換車の動作テストを実施

7. 試作品評価・検証：

試作品の評価・検証のために千葉県内介護施設により使用テストを実施

8. アンケート分析：

介護施設による使用テストの結果アンケートを実施、アンケート結果の分析

——アンケート分析の結果——

○おむつ交換車の重量を軽くするためにフレーム素材を再考

○汚物格納スペースが少ないとの指摘に対して汚物収納部の大きさを再考

○引き出し収納全体の仕様を再考

○汚物パッキンの必要性のアピール方法を検討

○引き出し収納部のロック機能を再考

※アンケート結果を踏まえ製品の改良を加え「介護専用おむつ交換車」を完成させます。



コンパクトタイプ ワイドタイプ木製おむつ交換車
木製おむつ交換車

コンパクトタイプ ワイドタイプアルミおむつ交換車
アルミおむつ交換車

事業実施の成果

平成26年より「介護専用おむつ交換車」の研究を実施、本事業におきまして研究により得た情報を基に試作品の開発を行いました。完成した試作品を介護施設におきまして使用頂きアンケートを

実施、今後アンケート結果を基に試作品の完成度を高め製品化に向け準備を開始します。

又、本事業で申請した知的財産権(実用新案・特許)も取得でき、知財に対する意識も向上できました。

今後の展望

今後も、アンケート結果等を踏まえ、「介護施設専用おむつ交換車」の改良を進め、より一層使用者の満足度を高めてまいります。

平成30年11月に開催される医療・介護展示会「2018 HOSPEX JAPAN」への出展を

計画しており展示会にて製品のデューと販売を開始する為に準備を進めています。

又、ECサイトの構築による介護向け販売サイトの立ち上げ、直販ルートの開拓・整備等を充実させ販売強化を進めてまいります。

社長から一言

社長 西村 康明

当社は、理容器具の製造販売から創業し、現在では理容・美容関連製品の製造販売から医療器具の製造販売へと取扱品目を増やし今日に至っています。

会社の新しい道を開くために「ものづくり補助金」にチャレンジしたことは経営者としての見聞を広げ本事業に共に努力してくれた社員一同に対して、会社の新しい道を示すことができ有意義でした。

本事業中、何度も挫折し諦めかけましたが、周りの力添えで最後まで到達できました。これからもものづくりの原点を見据え、社員一同プロフェッショナルになるべく努力していく所存です。

企業データ

[主な事業・業種] 理容・美容器具製造販売及び医療・介護器具製造販売

[得意分野] 製品企画から設計製造まで自社を中心に一貫で完成ができること

所在地：[本社／事業実施場所]

〒283-0823 千葉県東金市山田242-1

T E L：[本社／事業実施場所] 0475-55-1370

F A X：[本社／事業実施場所] 0475-52-3391

E-mail：info@nishimura-mfg.jp

設 立：昭和35年7月21日

代表者：代表取締役 西村 康明

従業員数：15名

資本金：1,000万円